

平成30年度「紀北健康出前講座」テーマ 一覧表

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院

科名	講師職・氏名	講座名	講座概要	備考
内科	教授 廣西 昌也	認知症について知っておくこと	高齢化社会になり、認知症が増えています。認知症について基本的な知識を御説明いたします。	
内科	教授 廣西 昌也	高齢化社会と知域医療	高齢化がすすむとがん、認知症、動脈硬化性疾患などがどんどん増加します。年を取る上で知っておくべき健康のお話をいたします。	
内科	助教 中西 一郎	パーキンソン病とはこんな病気です	神経疾患で最も多い病気がパーキンソン病です。どんな症状があれば病院に行けばよいかの、どんな治療があるのかをお話しします。	
内科	助教 中西 一郎	高齢者とくすり	おくすりとのつき合い方について	
内科	助教 中西 一郎	認知症患者・家族の支援	認知症の困った症状に対する対応 介護者の支援について	
内科	助教 栗栖 清悟	糖尿病 -なぜ治療しないといけないの-	自覚症状があまりないのにどうして食事制限をしたり、運動療法や薬を使って糖尿病を治療しなければならないかをお話しします。	

※講演時間、講演可能な曜日や時間帯等については、市町等からの出前講座の要望が具体化した段階で詰めを行います。

平成30年度「紀北健康出前講座」テーマ 一覧表

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院

科 名	講師職・氏名	講 座 名	講 座 概 要	備 考
内 科	助 授 栗栖 清悟	本当は怖い糖尿病	放置すると気づかないうちに進行する糖尿病。合併症について説明し、予防・治療についてわかりやすく説明します。	
小 児 科	助 教 戸川 寛子	こどもの予防接種について	予防接種の基礎知識から最新事情までわかりやすく解説します。	
小 児 科	助 教 戸川 寛子	こどもの感染症について	感染症の基本とよくあるこどもの感染症について解説します。	
小 児 科	助 教 戸川 寛子	尿検査からわかるこどもの病気について	学校や保育所で毎年行われる尿検査からわかるこどもの病気の話をしをします。	
小 児 科	助 教 戸川 寛子	インフルエンザについて	毎年冬に流行するインフルエンザについてわかりやすく解説します。	

※講演時間、講演可能な曜日や時間帯等については、市町等からの出前講座の要望が具体化した段階で詰めを行います。

平成30年度「紀北健康出前講座」テーマ 一覧表

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院

科 名	講師職・氏名	講 座 名	講 座 概 要	備考
外 科	助 教 櫻井 照久	乳がんなんてこわくない	乳がんは早期で発見されれば怖い病気ではありません。乳がん検診の重要性に加え、その方法や自己検診法などについて解説します。	
外 科	助 教 櫻井 照久	アンチエイジングから考えるがん予防	アンチエイジング（抗加齢医学）とがん予防の多くは共通しています。健康維持のためのアンチエイジングとがん予防について解説します。	
整形外科	分院長（教授）川上 守	本当は怖い腰痛の話	腰痛の8割の原因は明確ではありません。すなわち、経過観察で症状は軽快します。しかし、レッドフラッグスといわれる腰痛は本当に怖い腰痛です。その腰痛について詳述します。	
整形外科	分院長（教授）川上 守	あなたの腰痛－ 「ヘルニア」から「狭窄」へ	以前は「随分前から腰が痛くて、ヘルニアと言われているんです。」という患者さんが多くいましたが、最近では「狭窄なんです。」という患者さんが増えています。健康な人でも70歳を過ぎると80%以上の人が「狭窄」を持っています。狭窄について詳述します。	

※講演時間、講演可能な曜日や時間帯等については、市町等からの出前講座の要望が具体化した段階で詰めを行います。

平成30年度「紀北健康出前講座」テーマ 一覧表

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院

科 名	講師職・氏名	講 座 名	講 座 概 要	備考
整形外科	分院長（教授）川上 守	手足のしびれ 年のせいばかりではありません	手足のしびれは背骨の病気でおこります。 年のせいだと思わずに一度整形外科を受診 しましょう。	
整形外科	講 師 中川 幸洋	お年寄りのせきつい圧迫骨折 に対する新たな治療	高齢者の圧迫骨折は腰まがりの原因にもな り、又、その痛みは生活に支障を来しま す。経皮的相体形成術について紹介しま す。	
整形外科	講 師 中川 幸洋	脊椎内視鏡手術最前線	現在の脊椎内視鏡手術の適応疾患やその効 果につき解説します。	
整形外科	講 師 中川 幸洋	子どもの腰痛の原因 せきつい分離症について	スポーツ選手や子どもが腰痛を訴える場合 脊椎分離症の可能性がります。早期に診 断すれば適切な治療を行えます。	
整形外科	講 師 中川 幸洋	青少年のスポーツによるせき ずい損傷について	スポーツ活動による青少年期の脊髄損傷に ついて解説します。子どもをスポーツから の四肢マヒから守りましょう。	
整形外科	助 教 寺口 真年	本当はこわい骨粗鬆症	骨粗鬆症を放っておくと、骨折をおこし寝 たきりになることがあります。きちんと知 り、検査、治療を受けましょう。	

※講演時間、講演可能な曜日や時間帯等については、市町等からの出前講座の要望が具体化した段階で詰めを行います。

平成30年度「紀北健康出前講座」テーマ 一覧表

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院

科 名	講師職・氏名	講 座 名	講 座 概 要	備考
脳神経外科	准教授 大岩 美嗣	治る認知症、治らない認知症	最新の認知症治療を解説します。	
脳神経外科	准教授 大岩 美嗣	脳卒中の最新治療	脳卒中の治療について内科的治療から外科的治療まで幅広く解説します。	
脳神経外科	准教授 大岩 美嗣	脳ドックのすすめ	脳の病気の早期発見と予防について解説します。	
眼 科	講 師 泉谷 愛 講 師 石川 伸之 助 教 溝口 晋 学内助教 二出川裕香	緑内障とは	じつはとても多い病気、緑内障。 症状や治療方法をわかりやすく説明します。	
眼 科	講 師 泉谷 愛	こどもの目の病気 斜視・弱視	お子さまの「見える」をまもりましょう。 症状や治療方法をわかりやすく説明します。	
眼 科	講 師 石川 伸之 助 教 溝口 晋	加齢黄斑変性とは	真ん中が見えにくい事はありませんか？ 加齢黄斑変性の症状、治療について解説します。	

※講演時間、講演可能な曜日や時間帯等については、市町等からの出前講座の要望が具体化した段階で詰めを行います。

平成30年度「紀北健康出前講座」テーマ 一覧表

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院

所属名	講師職・氏名	講座名	講座概要	備考
眼科	助教 溝口 晋	撃退！ドライアイ	全国で約2000万人の患者さんがいると言われているドライアイ（乾き目）。症状や治療についてわかりやすくお話しします。	
リハビリテーション科	准教授 隅谷 政	こむらがえり 予防と対処法	こむらがえりは足がつる症状のことで大変辛いものです。スポーツで経験するだけではなく、病気で発生しやすくなる場合もあります。原因をよく知り予防を徹底することや発生してしまった場合の対処法を覚えておくと役に立ちます。	水曜午後のみ可
リハビリテーション科	准教授 隅谷 政	足のむくみ 適切な対処法	足のむくみは誰もが経験するありふれた症状です。夕方になると足がむくんで朝になったら消えているという単純な場合もあれば、常に足がむくんでいて気になるという場合もあります。いろいろな病態に基づいて適切な対処法を解説します。	水曜午後のみ可
リハビリテーション科	准教授 隅谷 政	手足のしびれ痛み 原因と対処法	手足のしびれや痛みは病気の治療後もすっきり改善せず続くことがしばしばあります。この厄介な症状に対する適切な対処法について概説します。	水曜午後のみ可

※講演時間、講演可能な曜日や時間帯等については、市町等からの出前講座の要望が具体化した段階で詰めを行います。

平成30年度「紀北健康出前講座」テーマ 一覧表

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院

所属名	講師職・氏名	講座名	講座概要	備考
リハビリテーション科	理学療法士 小池 有美 療法士長	がんのリハビリテーション	がんの手術前後および抗がん剤治療中の運動療法について、実技を交えて説明します。	
リハビリテーション科	理学療法士 左近 奈菜	糖尿病の運動療法	糖尿病の場合に行う運動療法について解説します。	
リハビリテーション科	理学療法士 峯玉 賢和	腰痛の運動療法	腰痛の場合に行う運動療法について解説します。	
リハビリテーション科	作業療法士 鈴木 浩之	肩の痛みに対する運動療法	肩が痛い場合に行う運動療法について解説します。	
リハビリテーション科	言語聴覚士 大高 明夫	えん下障害について	ムセなくおいしく食べるために	
リハビリテーション科	作業療法士 阿瀬 裕太	認知症に対する作業療法について	認知症や認知症予防の観点から作業療法の介入について解説します。	

※講演時間、講演可能な曜日や時間帯等については、市町等からの出前講座の要望が具体化した段階で詰めを行います。

平成30年度「紀北健康出前講座」テーマ 一覧表

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院

所属名	講師職・氏名	講座名	講座概要	備考
看護部 (外来)	副看護師長 山本 真由	緩和ケアについて ～自分らしく生きるために～	緩和ケアについて、また、完治しない病気（がん等）になっても、症状を和らげ、生活の質を高める方法を知ることが大事ということについて説明します。	
看護部 (外来)	副看護師長 田中 治美	感染対策について	自分自身や家族を感染から守るための方法について説明します。	
看護部 (外来) (2階病棟)	看護師 南 有美 山口 裕子 和田 麻旗	糖尿病療養指導について	糖尿病からくる合併症の恐さ、早期ケアの必要性について説明します。	
看護部 (3階病棟)	副看護師長 岸田 悦子	認知症について	認知症を予防する生活習慣や認知症を患ったご家族への関わり方について説明します。	
事務室医事班	診療情報管理士 泉谷 光次郎	私のカルテ ～カルテってどうなっているの？～	皆様が病院を受診されると必ず記録（カルテ）が作成されます。カルテにどんなことが書かれているの？、どうやって保管しているの？、などについて解説します。 また、自分のカルテを見たい場合の手続き等についても説明します。	

※講演時間、講演可能な曜日や時間帯等については、市町等からの出前講座の要望が具体化した段階で詰めを行います。